

2022/01/14 fri



東京大学未来ビジョン研究センター  
Institute for Future Initiatives

14:00~17:00 公開オンラインシンポジウム

Zoom Webinarによるオンライン開催

事前申し込み制

無料

# デジタルデータガバナンス シンポジウム

— データ利活用の便益とリスクを踏まえたルールと政策 —

企業のDXへの取り組みや政府におけるデジタル庁の設置や関連法令の整備などが進む中で、依然としてDXを支えるデータ利活用が進んでいないといった指摘があります。未来ビジョン研究センターのデータガバナンス研究ユニットでは、昨年新型コロナウイルス感染症対策におけるデータ利活用に関して議論を重ねて政策提言を発表しました (<https://ifi.u-tokyo.ac.jp/news/8422/>)。その後、一部の課題が解決に向かった面があるものの、多くの課題がまだ残されています。政府は主要なデータ連携基盤の構築を図っていますが、こちらも多くの課題に直面しているといつてよいでしょう。本シンポジウムでは改めてこの現状を把握して、今後のデータガバナンスを支える取り組みの方策やマネジメントの在り方、さらにそれらを支援するルールについて議論できればと思います。

## Program

挨拶

城山英明 (東京大学未来ビジョン研究センター センター長)

第一部【事例報告】 14:10~15:20

「AIデータガバナンス:日立東大ラボの取り組みから」

直野 健 (株式会社日立製作所 研究開発グループ・デジタルPF  
イノベーションセンタ/主管研究員)

「スーパーシティの法令関係」

森 亮二 (弁護士法人英知法律事務所/弁護士)

「コロナ感染症とデータ利活用の事例」

美馬正司 (株式会社日立コンサルティング スマート社会基盤  
コンサルティング第2本部 ディレクター)

「デジタルアーキテクチャーと官民DX」

西山圭太 (東京大学未来ビジョン研究センター/客員教授)

第二部【パネル討論】 15:30~17:00

トピック

「未来ビジョン研究センター・  
新領域創成科学研究科 共催セッション」

- コロナとデータ政策提言のフォローアップから
- AIとデータ、スマートシティー アジャイルガバナンスの適用可能性
- 公益に資するデータの利活用
- データガバナンス技術的手段との連携
- データ政策の方向性

モデレーター 渡部俊也 (東京大学未来ビジョン研究センター/教授)

パネリスト 尖戸常寿 (東京大学大学院法学政治学研究所/教授)

西山圭太 (東京大学未来ビジョン研究センター/客員教授)

江間有沙 (東京大学未来ビジョン研究センター/准教授)

日置巴美 (弁護士法人三浦法律事務所/弁護士)

古井祐司 (東京大学未来ビジョン研究センター/特任教授)

前田三奈 (内閣府知的財産戦略推進事務局/政策企画調査官)

直野 健 (日立製作所 研究開発グループ・デジタルPF  
イノベーションセンタ/主管研究員)

クロージング

出口 敦 (東京大学大学院新領域創成科学研究科長)

主催 東京大学未来ビジョン研究センター  
(データガバナンス研究ユニット)

日立東大ラボ

要事前申込 (参加無料)。下記参加申込フォームからお申込みください。

URL [https://ifi.u-tokyo.ac.jp/event\\_form/11900/](https://ifi.u-tokyo.ac.jp/event_form/11900/)

※申込締切: 2022年1月13日(木) 正午まで

※ご登録完了後、前日1月13日(木) 午後に事務局より招待URLをお送りします。



お問い合わせ先 東京大学未来ビジョン研究センター データガバナンス研究ユニット事務局 Email: [wlab@ifi.u-tokyo.ac.jp](mailto:wlab@ifi.u-tokyo.ac.jp)